

カリブラコア・キャンディベル

*科名：ナス科 *属名：カリブラコア属

*性状：多年草



●小輪多花性のペチュニアの仲間で、大輪のペチュニアの豪華さに比べると可憐な美しさがあります。カリブラコア属はペチュニア属から分離された属で、厳密には違いがありますが、ペチュニアとは極めて近縁で、実用上は小輪多花性のペチュニアと考えればよいでしょう。カリブラコアはペチュニアの名で販売されているものもあります。立性と匍匐性の系統があり、普通のペチュニアより暑さ、寒さにやや強いといわれています

【販売店様へ】

近年、急速に改良が進み、毎年、新しい品種が出てきますが、幣園も今春から“より育て易い”品種に変更しております。これまでより店頭ロスも発生しにくいと思われていますが、以下の点に注意してください。

- *灌水後、停滞水が残らないようにする。（伏せたトレーなどの上に陳列して灌水）
- *灌水の際、高圧の水で灌水をし、枝を折らないように注意！！（折れた部位から病気が発生！！）
- *伸び過ぎた、枝は花芽を残しながら、こまめに剪定する（蒸れ防止のため）
- *様々な品種のカリブラコアを仕入れた場合はウィルス（特にナス科の植物には脅威）が発生する恐れがあるため、害虫（特にアザミヤカ、コジラミ、アブラムシ）の防除に努める（市販の殺虫剤で構いません）

【購入されたお客様へ】

購入されたら、ひとまわり大きな鉢に植え替えてあげてください。また、寄せ植えをする場合は直径30cmのボール鉢に3~4株程度が目安です。その際（植え替え）に伸び過ぎた枝は花芽を少し残して、剪定して整えてください。たいへん、育て易い品種ですが、4月中は水を与え過ぎないように注意します。5月になって、植物の生育が旺盛になると同時に水も肥料もたっぷりと与えます。肥料が少ないと、病気にかかりやすくなったり、害虫が寄りやすくなります。肥料は市販の化成肥料（固形肥料）と併せて、たまには液体肥料も与えると良いでしょう。一般的に液体肥料は即効性ですので、植物が少々、元気が無いか？と思った時などに与えると、回復が早いです。梅雨時の2,3日も雨が続くような場合は雨除けをしてあげてください。夏場の管理も簡単ですが、株が大きくなりすぎたり、伸び過ぎてしまった枝はこまめに剪定（ピンチ）をし、株の中心部があまり、密集しないように気をつけましょう。（中心部が密集し過ぎて蒸れやすくなる）高温時は害虫も発生しやすくなるので、市販のグレートタイプ[®]の殺虫剤で防除してください。害虫は発生密度が濃くなると殺虫剤の効果も落ちるので、予防として週に一度は殺虫剤の散布を心がけてください。主に（アブラムシ、スリップス類、アムシ、ハダカバエ等）に注意してください。